

## 平成19年度第2回社会教育委員会議事録

1 日 時 平成19年8月24日（金）午後2時00分～午後4時00分

2 場 所 千葉ポートサイドタワー 12階 第1会議室

3 出席者 (委員)  
犬塚議長、西川副議長、池田委員、伊坂委員、大胡田委員、  
片桐委員、菊池委員、千葉委員、堀谷委員、松井委員

(事務局)  
本庄生涯学習振興課長、成毛社会体育課長補佐、村松青少年課長、  
田口中央図書館長、積田文化振興課長補佐、鈴木生涯学習振興課主幹、  
湯浅生涯学習振興課長補佐、君塚生涯学習振興課社会教育係長、  
高本生涯学習振興課社会教育係主任主事

4 議 題 (1) 平成19年度社会教育功労者候補者の選考について  
(2) 平成19年度指定都市社会教育委員連絡協議会大会参加報告  
(3) 社会教育委員会議研究活動について  
(4) その他

5 議事の概要 (1) 非公開審議事項の決定について  
・議題(1)を非公開審議とする旨決定。  
(2) 平成19年度社会教育功労者候補者の選考について  
・生涯学習振興課から各候補について説明。  
・候補者であった個人70名、団体2団体の全てを審査し、  
教育長に候補者名簿を提出することを決定。  
(3) 平成19年度指定都市社会教育委員連絡協議会大会参加報告  
・副議長から、5月25日に広島市で開催された指定都市社会  
教育委員連絡協議会について報告。  
(4) 社会教育委員会議研究活動について  
・社会教育における課題や取り組みについて、各委員の立場か  
らの発言及び意見、提案。  
(5) その他  
・7月19日に千葉県社会教育委員連絡協議会代議員会におい  
て、菊池委員が事例発表をした旨の報告。  
・9月13・14日に、静岡県熱海市において開催される関東  
甲信越静社会教育研究大会について報告。

(事務局からの連絡)

- ・ 11月8日に開催される千葉県社会教育振興大会についての出席依頼。(生涯学習振興課)
- ・ 千葉市科学館について説明。(生涯学習振興課)

## 6 会議経過

### 議題(1) 平成19年度社会教育功労者候補者の選考について

本市における社会教育の振興及び発展に寄与された個人及び団体に対し、千葉市社会教育功労者顕彰要綱に基づき、候補者個人70名、団体2団体の全てを候補者として審査した。全ての候補者について候補者名簿を作成し、教育長に提出することを決定。平成19年11月17日に社会教育功労者感謝状贈呈式を開催する予定。

### 議題(2) 平成19年度指定都市社会教育委員連絡協議会大会参加報告

(議長) 5月25日に広島市で開催され、西川副議長に出席していただきましたので、ご報告をお願いいたします。

(副議長) 千葉市は「地域の教育力の再生及び活性化のための方策について ～「放課後子ども教室推進事業」など子どもの居場所づくりに係る地域の取組の充実に向けて～」というテーマで協議題を提出し、3市(川崎市、名古屋市、北九州市)から会議内で回答を得、他の政令市からは書面で回答を得ました。

逆に、静岡市の「社会教育と大学との連携について」という協議題について、千葉市が会議で回答をしました。

なお、この大会は政令市の持ち回りで行うため、来年度は仙台市、その次の年は千葉市で開催される予定です。

(議長) この会議は、意見交換が活発に行われる大変充実した会議なのですが、副議長の報告に関して、質問のある方はいますか。

(委員) 「社会教育と大学との連携」で話のあった「ちば子ども学研究会」について知りたい。

(事務局) 当初は、行政と大学との連携ということで、市の政策調整課が中心となり、文部科学省の補助事業として実施しました。教育委員会としては、子育てを支援するグループを作ることを目的に、学習プログラムを立案し、「ちば子ども学講座」を開設しました。その後は、講座修了生の有志が講座開設及び活動を轟公民館で行っていましたが、現在は生涯学習センターを拠点に活動しています。

当初からこの活動にボランティアでご協力いただいている千葉大学の先生の授業の一環として、平成18年度からは学生も加わり、「ちば子ども学研究会」の活動に参加しながら、講座の企画・運営に携わり、卒業単位を取得する形をとっています。

(副議長) この事業に参加することで、学生の単位になるという点が非常にユニークだと、会議でも話題になっていました。

(委員) 21年度に千葉市で、この会議が開催される際のアピールになるいい事業ですね。

(委員) 子どもの対象は小学生ですか。

(事務局) 主に小学生ですが、保護者がいれば未就学児でも受け入れています。

(委員) イベントの時は、中学生にもボランティアとして参加してもらっています。

(議長) 他に何かありますか。

(委員) 予算についての話はありましたか。

(事務局) 特にありませんでした。

(副議長) (資料2の)表紙にある各政令市の協議題、これが今、社会教育が担っている柱と考えていただいてよいと思います。特に、千葉市が提案した放課後子ども教室は、どの政令市でも関心が高かったのではないかと思います。

(委員) 学校との連携はどうですか。

(事務局) 放課後子ども教室は、あくまでも社会教育の一環で行っている事業です。もちろん、学校には多大なご協力をいただいています。

### 議題(3) 社会教育委員会議研究活動について

(議長) 平成17年の12月に、この社会教育委員会議がスタートして、各委員の皆様「今後の社会教育委員会議の研究活動について」レポートを書いていただきました。そのレポートを基に、皆さんがどのような部分に関心があるのかを資料3及び資料3-2に表してあります。この2つの資料を見ながら、今後の社会教育委員会議の研修活動について、皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

まず、資料3-2の中の、子どもの安全という部分で、社会教育の領域で対応できないかというご意見がありました。いかがでしょうか。

(委員) 昼でも、子どもが安心して遊べるようなところが、少なくなってきましたね。親子の関わり、地域の人との関わりが、本来ならばあるはずなのに、なかなか解決策がないようですね。

(副議長) それでは、社会教育的な視点で、地域や大人がどう関わっていくか、議論していきましょう。これからは、団塊世代が地域に戻ってきますので、その方たちの活用などが必要になってくるのではないのでしょうか。

(委員) 数年前から中学校単位で地域を知ろうという授業を行っているようです。大人自身も地域を知らないのに、子どもの視点で地域を学習することは、社会教育になるのではないかと思います。

(議長) それでは、資料3-2の中の2~5については、いろいろなどころでご意見が出てきておりますので、6(行政の縦割りを超えたプロジェクトの提案)について、具体的なアイデア等ありましたらご意見をいただいて、実現の可能性を考えたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(委員) まず、ひとつはスポーツ施設についてです。これは、教育委員会が管理しています。新港にあるアイススケート場は社会体育課が管理しているわけですが、そこにはアイススケート場の知識を持った人がいないのです。学校体育の延長

ではなく、もっと行政上のやり方でできないか、市長部局のどこかと連携できないかと考えています。そして、何かを行う時には、プロジェクトチームを作成していくのがいいと思います。

(副議長) いいか悪いかは別として、今年度から(旧)文化課の一部の業務が市長部局へ移行しましたね。

(事務局) スポーツ部門の首長部局への移管については、他市にも例がありますので、今後、総合的な観点から検討していく必要がでてくるかもしれません。

(議長) 他の委員の方で、何かご意見等ございますか。

この会議の研究活動として、より積極的な方向性を考えていきたいと思います。また、機会がある度に皆様のご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

#### 議題(4) その他

(議長) 7月19日に千葉県社会教育委員連絡協議会代議員会に出席いたしました。その際、「公民館を拠点とした次世代育成」という演題で、菊池委員に事例発表をしていただきました。ありがとうございました。

来月、9月13、14日に静岡県熱海市において、関東甲信越社会教育研究大会が行われ、そこで「ちばカレッジ」についての副議長と共に事例発表を行う予定です。

それでは、事務局の方から何かありますか。

(事務局) 先程、千葉市の社会教育功労についてご審議いただきましたが、千葉県においても社会教育功労の表彰がございます。千葉市においては、主に団体が表彰対象になっており、本年度は「千葉市女性グループ連絡会」を推薦させていただきました。表彰式は11月8日の千葉県社会教育振興大会の中で行われる予定ですので、ご出席の程よろしくお願ひいたします。詳細につきましては、後日改めてお知らせします。

(議長) 各課の所管で何か事業等の報告はありますか。

(事務局) 生涯学習振興課所管の科学館が、10月20日にオープンする予定です。

機会がありましたら、ご覧になっていただければと思います。

(議長) 以上で、本日の会議を終了します。

問い合わせ先 千葉県教育委員会生涯学習部生涯学習振興課  
電 話 043-245-5954